

2016
No.82

[2016年8月~11月号]

青山学院大学

〒150-8366

東京都渋谷区渋谷4-4-25

<http://www.aoyama.ac.jp/>

AGU NEWS

AOYAMA GAKUIN UNIVERSITY NEWS



特集

青山学院大学の進路・就職支援

2016年度の就職活動について

Topics

総合文化政策学部の学生が字幕作成をした
ノーベル賞作家の伝記映画を上映

AGU Lecture

ゲーム理論

経済学部 水上ゼミ

2016年度の就職活動について

学生一人一人、納得のいく進路選択ができるよう支援します

日本経団連による「採用選考に関する指針」の変更により、企業の選考活動の開始時期が6月に早まったため、今年の4年生は従来よりも「短期決戦型」の就職活動であるといわれています。しかし多くの学生は3年生の夏休みにインターンシップに参加し、かつ外資系やIT企業などにおける実質的な選考活動は、従来通りのスケジュールで実施されることを考慮すると、就活期間が短くなったと感じる学生は少ないものと思われます。

進路・就職センターでは、3年次の4月に進路・就職ガイダンスを開催して、早い時期から進路選択への関心を高めるとともに、10月と2月にもガイダンスを行い、就職活動に臨む心構えや、事前準備の必要性を徹底して指導しました。本学では多彩な就職支援プログラムの提供、本学独自の進路・就職支援システム「Web Ash」による情報提供、そしてキャリアカウンセラーによる個別相談等によって、一人一人の学生が納得のいく進路選択ができるような支援活動に努めています。

高橋 邦丸 就職部長(経営学部教授)



キャリア・サポートの特長

相談員24名体制で学生相談に対応 青山キャンパス独自のCC講座も活用を

青山キャンパスでは、24名の相談員が学生相談を受け付けています。進路・就職支援の行事は年間400回以上行われ、その中には教員・公務員志望者向け講座や低学年向けの就職講座などがあります。2015年度からは新入生グループ面談も開始し、6月には保護者向け就職説明会を開催しました。青山キャンパス独自の取り組みとしては、CC講座もあります。これはキャリアカウンセラーたちが教室で、少人数を対象に面接対策やエントリーシートの書き方などを指導するというものです。予約不要の講座なので、進路・就職センターが混み合い個別相談の予約が取りにくい場合などにも、ぜひ活用してください。



青山キャンパス
進路・就職センター
吉森 浩史

進路の悩みは一人で抱え込まず 気軽に窓口にお立ち寄りください

相模原キャンパスでは、進路・就職課の職員やキャリアカウンセラーだけでなく、各学科の就職担当委員の先生方、OB・OG、キャリアチューター(先輩学生)が一丸となってサポートを行っています。最も大切にしているのは、学生との対話です。個別相談は予約制ではないため、思い立ったとき、授業の合間などに気軽に立ち寄っていただけるようになっています。寄せられる相談で多いのは、エントリーシートの書き方や面接対策についてです。中でも理系就職の技術面接については、面接の受け方は進路・就職課に、内容面は研究室の教員にそれぞれ指導を受けることで対策を進めるよう、アドバイスしています。



相模原キャンパス
進路・就職課
杉原 美澄

窓口開室時間 個別相談時間

青山キャンパス/進路・就職センター	
月～金	9:30～11:30(相談受付11:00まで) 12:30～19:00(資料室は9:00～19:00)
土	9:30～12:00(相談受付11:30まで)(資料室は9:00～13:00)

※青山キャンパス個別相談 午後の部は予約制です。
※夏期休業期間中の詳細は本学ウェブサイトをご覧ください。

相模原キャンパス/進路・就職課	
月～金	9:00～11:30 12:30～17:00
土	9:00～11:30

進路・就職年間スケジュール ～就職活動の流れ～

月	3年生(2018年卒業予定者)		4年生(2017年卒業予定者)	
	就職活動の流れ	主な実施行事	就職活動の流れ	主な実施行事
4	[Web Ash]進路希望の登録	進路・就職ガイダンス 資格取得ガイダンス	企業の採用広報活動(継続) 会社説明会参加 エントリー エントリーシート・履歴書提出 筆記試験 テストセンター受験	学内企業説明会(2月まで毎月実施予定) 企業研究セミナー 留年生のための就職ガイダンス 面接対策 6月直前!就活総仕上げ講座 ●模擬面接(4～7月)
5	インターンシップ準備開始	就活概念・準備講座(5・7・9月) 専門家による業界の分析―入門編― 外資系企業研究講座 インターンシップガイダンス インターンシップ各種対策講座 ビジネスマナー講座 ●OB・OGとのコミュニケーションカフェ(5～6・10月)	一部の企業の採用選考活動開始 面接・グループディスカッション(内々定)	学内企業説明会(2月まで毎月実施予定) 面接対策/自己分析とこれからの就活について/求人紹介セミナー/新卒応援ハローワーク利用ガイダンス/まだ間に合う!就活ナビ講座 ●社労士に聞く会社の見極め方
6	就職情報サイトプレオープン インターンシップ申し込み	就活基本講座① PICK UP 青学将インターンシップ企業紹介セミナー リターン就職ガイダンス 企業見学(6・10月) エントリーシート対策(6～12・2月) 面接対策(6・10～1月)	企業の採用選考活動開始 大手企業を中心とした面接 内々定	学内企業説明会(2月まで毎月実施予定) 面接対策/自己分析とこれからの就活について/求人紹介セミナー/新卒応援ハローワーク利用ガイダンス/まだ間に合う!就活ナビ講座 ●社労士に聞く会社の見極め方
7	インターンシップ選考(定期試験・レポート)	インターンシップマナー講座 リターンセミナー(前期)	一部の企業の二次募集 中堅・中小企業を中心とした採用	学内企業説明会(2月まで毎月実施予定) 面接対策/自己分析とこれからの就活について/求人紹介セミナー/新卒応援ハローワーク利用ガイダンス/まだ間に合う!就活ナビ講座 ●社労士に聞く会社の見極め方
8	夏休みインターンシップ(8～9月)			
9		就職ガイダンス		
10	自己分析 エントリーシート・履歴書対策 仕事・職種・業界・企業研究 OB・OG訪問 筆記試験対策 テストセンター模試 ビジネスマナー修得 面接対策 グループディスカッション対策	就活基本講座② PICK UP 選考対策シリーズ(10～12月) マスコミ業界研究 ●OB・OGによる業界研究(10～11月) ●模擬面接・模擬グループディスカッション(10～2月) 学内OB・OG訪問(10～11月) 就活サポーターによる相談会(10～1月) 女子学生キャリアプラン講座(10～11月)	正式内定日(内定式) 一部の企業の追加募集 中堅・中小企業を中心とした採用 大学に「進路届」を提出	学内企業説明会・選考会 ※説明会後に一次選考を実施 職業興味検査VRTで自己分析 新卒応援ハローワーク利用ガイダンス
11		就活基本講座③ PICK UP 仕事・職種・業界理解セミナー(11～12月) 筆記試験対策(11～1月) ビジネスマナー講座 外国人留学生対象ガイダンス(11・1月)		学内企業説明会・選考会 ラストパート就活総まとめAtoZ 求人紹介セミナー
12	インターンシップ申し込み	就活基本講座④(12～1月) PICK UP リターンセミナー(後期) 模擬グループ面接・グループディスカッション		学内企業説明会・選考会 実践的ビジネスマナー 新卒応援ハローワーク利用ガイダンス
1	インターンシップ選考(定期試験・レポート)	就活前の労働法 女子学生キャリアプラン講座 学科別就職ガイダンス		学内企業説明会・選考会 これからの就活について 求人紹介セミナー
2	春休みインターンシップ	就職ガイダンス		●印は校友会による行事 青印は青山キャンパス 緑印は相模原キャンパス ※4年生の主な実施行事は 青山・相模原両キャンパスで開催 ※公務員・教員志望者向けの講座も 別途実施しています。 ※行事は変更の可能性があります。
3	企業の採用広報活動開始 就職情報サイトオープン 会社説明会参加/エントリー エントリーシート・履歴書提出/筆記試験 テストセンター受験/面接 グループディスカッション	学内企業説明会(約500社)		

進路・就職センター 開催プログラム

PICK UP

就活基本講座

約1カ月間で就職活動の基本的な対策ができる講座で、3年次の6、10、11、12～1月にかけて、繰り返し開催されます。
※相模原キャンパスでは選考対策シリーズとして10～12月に開催。
(主な内容)
就職活動の仕方、筆記試験対策講座(総論)、自己分析、エントリーシート・履歴書対策、仕事・職種・業界・企業研究、面接対策、マナー講座、模擬面接 など

新入生グループ面談

進路・就職センターでは2015年度より、5～7月にかけて1年生全員に、同じ学科同士の5名で、職員やキャリアカウンセラーとのグループ面談を実施しています。早い段階から進路・就職センターと接点を持つことで、今後の利用や自身のキャリアについて考えるきっかけとなります。面談日程表に参加日時が設定されていますが、都合の悪い場合は変更が可能です。約30分のグループ面談では、自己紹介をはじめ、自分を知り、伝える難しさを知る簡単なワークの他に、センターの利用方法、4年間の就職活動スケジュールについても紹介します。



森川 晶子さん
理工学部 経営システム工学科 4年
東京・私立恵泉女子学園高等学校出身

キャリアカウンセラーというプロが 身近にいる安心感は大きな支えでした

就職活動は3年生の6月、進路・就職課のセミナーへの参加で始まりました。「人の役に立つ仕事がしたい」という思いがあったので、インターンシップへの参加などを経て、就職先は企業の課題を解決するコンサルティング業界に決めました。ところが冬になると、早い段階で業界を一つに絞っていることが不安になりました。そこで進路・就職課に相談したところ、思いがけず「立ち止まれたのはいいきっかけ」と言ってくださったのです。そのおかげで、自分が何をしたいのかわち着いて考えることができました。また、それまでは会社主催の説明会に参加していたのですが、キャリアカウンセラーから、社員訪問という次の段階に進むことをアドバイスしていただき、社員訪問を積極的に行きかけとなりました。

ところが4年生の4月頃になると、コンサルティング業界以外にも興味が湧いたことで、情報や考えを整理しきれず混乱してしまいました。そのときもキャリアカウンセラーが「大丈夫!」と励ましてくださり、「就職活動のプロがそう言うのだから本当に大丈夫だ」と、肩の力を抜くことができました。進路・就職課はいつも自分が不安なときに相談に乗ってくれ、道を示してくれました。一人で悩みを抱えて行き詰まっている人には、「プロが身近にいるよ」と言いたいですね。

就職活動は不安なことたくさんありますが、自分が活躍できる場所を見つける楽しみのほうが大きかったと感じます。

就職活動に関するスケジュール

3年次
[6月] 進路・就職セミナー参加
[8月] 2週間の就労体験型インターンシップ参加
1dayのセミナー型インターンシップ参加

1月 早期選考の企業面接
[2月] 1週間のワークショップ型インターンシップ参加
[3月] 学内企業説明会、会社説明会開始、OB・OG社員訪問開始

4年次
[4月] エントリーシート提出・適性検査
[5月] 面接



分部 祐成さん
経営学部 経営学科 4年
山梨県立吉田高等学校出身

留学後にスタートした就職活動では 的確な指導や親身な助言を心強く感じました

留学先から帰国したのが3年生の1月だったので、就職活動を本格的に始めたのは2月からです。留学前には進路・就職センターが開催するセミナーに参加し、留学中に収集すべき情報や帰国後の就職活動について相談していました。帰国後は、1年間近くブランクがあったので、最初は一足先に就職活動を終えた友人たちに話を聞き、情報収集することから始めました。その後はエントリーシートの作成、業界セミナーへの参加、学校主催の企業説明会への参加、SPI等の試験対策、OB訪問、面接対策などを行いました。業種を絞らず、英語を使った仕事をしたいという希望を持っていました。4年生の5月頃は周囲の動きが気になる一方、私は面接で結果を出せないでいたので、かなり気持ちも追いつめられました。けれども友人に自分の面接の様子を見てもらい、さらに進路・就職センターで個別相談を繰り返した結果、次第に面接もうまくいくようになりました。

4年生になって個別相談の担当を指名できるようになり、いつも同じ方に就職活動の方針について、相談に乗ってもらいました。進路・就職センターの皆さんは、とても親身に対応してくれたので本当に感謝しています。エントリーシートの記載内容の確認をはじめ、「就職全般について」といった漠然とした相談でも大丈夫です。進路・就職センターはどんどん利用することをおすすめします。

就職活動に関するスケジュール

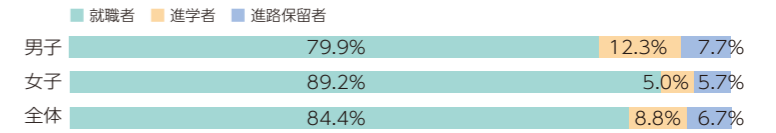
3年次
[4月] 進路・就職ガイダンス参加
[7月] インターンシップ選考参加
休学留学 4～1月

3年次
[2月] 各種業界セミナー参加、筆記試験勉強開始
[3月前半] 学内説明会参加、業界研究
[3月後半] 学内説明会参加、エントリーシート作成、OB訪問、面接講座参加

4年次
[4月前半～5月後半] 筆記試験、エントリーシート作成、企業研究、面接
[6月] 面接、OB訪問

進路決定状況(全体)

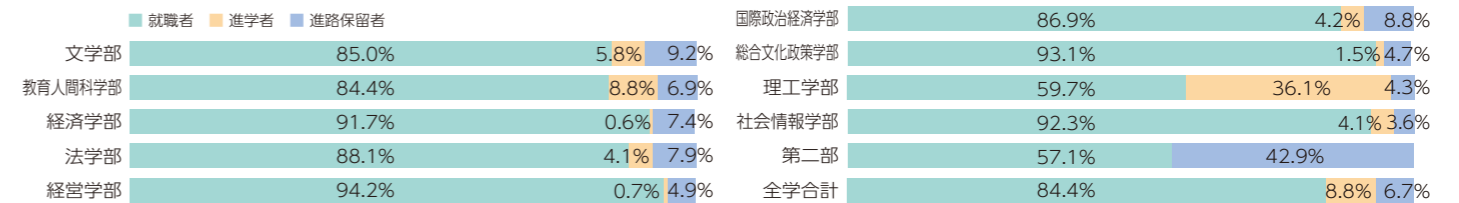
	男子	女子	全体
2016年3月学部卒業生	2,073名	1,937名	4,010名
進路決定者	1,912名	1,825名	3,737名
就職者	1,657名	1,728名	3,385名
進学者	255名	97名	352名
進路保留者	159名	110名	269名
進路届未提出者	2名	2名	4名



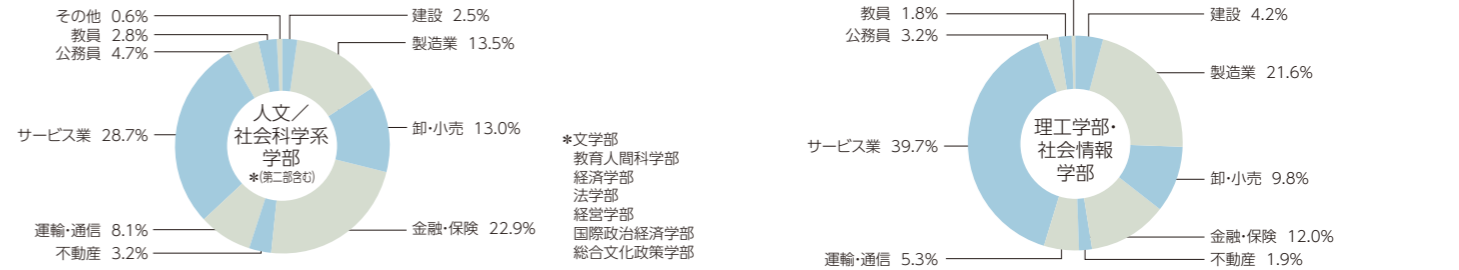
・「進路決定者」は「就職者」と「進学者」の合計
・「就職者」は新規採用決定者、自営業者、現職継続者、臨時雇用者の合計
・「進学者」は本学大学院、国内他大学・大学院、海外大学・大学院、専門学校へ進学した学生の合計
・「進路保留者」は進学・留学準備者、各種試験準備者、ボランティア・主婦(主夫)、就職活動継続者などの合計

進路決定状況(学部別) 第二部は文・経済・経営(いずれも募集停止)の合計

	文学部	教育人間科学部	経済学部	法学部	経営学部	国際政治経済学部	総合文化政策学部	理工学部	社会情報学部	第二部	全学合計
2016年3月学部卒業生	779名	320名	470名	469名	556名	283名	274名	632名	220名	7名	4,010名
進路決定者	707名	298名	434名	432名	528名	258名	259名	605名	212名	4名	3,737名
就職者	662名	270名	431名	413名	524名	246名	255名	377名	203名	4名	3,385名
進学者	45名	28名	3名	19名	4名	12名	4名	228名	9名	0名	352名
進路保留者	72名	22名	35名	37名	27名	25名	13名	27名	8名	3名	269名
進路届未提出者	0名	0名	1名	0名	1名	0名	2名	0名	0名	0名	4名



業種別就職決定率



就職者数上位企業

人文/社会科学系学部・研究科	理工学部・研究科(博士前期課程)	文理融合系学部・研究科
みずほフィナンシャルグループ 三井住友銀行 全日本空輸 三菱東京UFJ銀行 りそなグループ 日本郵政グループ	SMBC日興証券 日本航空 三井住友海上火災保険 日本生命保険 楽天	三菱東京UFJ銀行 富士通 エヌ・ティ・ティ・データ 第一生命保険 日本電気 日本航空
	日本電気 キヤノン 東芝 NECソリューションイノベータ パナソニックシステムネットワークス アクセンチュア	日本生命保険 日本ユニシス 三井住友銀行 りそなグループ 日本郵政グループ 野村證券
	SCSK 東海旅客鉄道 本田技研工業 みずほフィナンシャルグループ LIXIL トヨタ自動車	

教員採用(専任のみ)

幼稚園/10名(公立2名、私立8名)
小学校/35名(公立31名、私立4名)
中学校/18名(公立18名)
高等学校/24名(公立10名、私立14名)

公務員採用

国家公務員/24名
地方公務員/122名
国家公務員: 経済産業省、厚生労働省、国土交通省、気象庁、検察庁 ほか
都道府県: 東京都、神奈川県、埼玉県、静岡県、京都府 ほか
東京特別区: 足立区、荒川区、大田区、北区、品川区、渋谷区、墨田区、世田谷区、台東区、練馬区、港区、目黒区
市町村: 川崎市、さいたま市、相模原市、横浜市、鎌倉市、つくば市、八王子市 ほか
警察官・消防官: 警視庁、埼玉県警、神奈川県警、茨城県警、東京消防庁 ほか

進路に関する満足度

進路・就職活動の成果についての満足度を5段階(満足・ほぼ満足・普通・やや不満・不満)で調査したところ、青山キャンパス(人文/社会科学系学部)に通う学生の78.6%が「満足・ほぼ満足」と回答。また、進路・就職センターの利用率は全体で69.0%で、特に学内企業説明会、進路・就職支援システム[Web Ash]、個別相談の利用率が、どの学部でも高いことが目立ちました。支援体制の満足度(5段階評価で「満足・ほぼ満足」と回答)はセンター利用者全体の65.1%で、支援活動利用と進路満足度との関係では、センター利用者全体よりも個々の支援活動別で見ると満足度が高くなっています。

一方、相模原キャンパス(理工学部・社会情報学部)では、78.4%の学生が自身の進路について「満足・ほぼ満足」と回答。進路・就職支援部署の利用率は全体で66.0%(相模原キャンパス進路・就職課:55.5%、青山キャンパス進路・就職センター:0.7%、両方とも:9.8%)で、特にES添削、模擬面接などを含む進路・就職に関する個別相談の利用が多く見られました。支援体制に対する満足度は71.2%で、進路・就職支援部署を利用した学生の進路満足度は、利用しなかった学生よりも高く(利用者:79.8%、非利用者:75.6%)、進路就職支援部署の利用と進路満足度の相関関係がうかがえる結果となりました。

地球社会共生学部(GSC)学生連合の取り組みと今後の活動について

2015年度、地球社会共生学部(GSC)の設置とともに、学部公式学生団体であるGSC学生連合が誕生しました。先輩がいない中で1期生が主体となり、まさに手探りの中で規約作成や組織のデザインをはじめ、1年間でさまざまなプロジェクトを企画・実施させました。例えば、Yahoo!やBenesse i-Careerとのコラボレーション企画、「ふちのべ大学」のイベント、大和市との連携事業(小学生に勉強を教習)、IVYCSとの商品開発企画、学部LINEスタンプ開発、クリスマスパーティー、留学生と行くジャパン・ツアーなどを実施しました。

その中でも「ふちのべ大学」は本学と桜美林大学、麻布大学の3大学連合で、地元商店街やJAXAと協働で淵野辺地域を活

性化させる新しい試みです。毎月定例会を実施し、これまでに「さくら祭り」での大学紹介、「淵野辺駅前熊本地震支援募金」などに参加しました。

現在は新たに2期生も加わり、総勢約80名で活動しています。新1年生たちも既に自分たちで新たなプロジェクト(日本文化農村再生、観光まちづくり)を企画し動き出しています。今後とも、ぜひ応援をよろしくお願いいたします。

(地球社会共生学部教授 林 拓也 記)



フランシス・フクヤマ氏講演会を開催

—青山学院大学・日本アスペン研究所共催、読売新聞社・共同通信社後援



『歴史の終わり』(1992年)以来、広範な著作で世界的に注目され続けているアメリカの政治思想家フランシス・フクヤマ氏を本学に招き、「民主主義の退行とトランプ現象」というタイムリーなテーマで公開講演会を開催しました。一般公募の方と本学教職員・学生あわせて三百数十人が参加する盛況ぶり、講演内容は洞察に満ち、刺激的な内容でした。

近代的政治制度には①中立的な国家機構②法の支配③民主的な統治の仕組みが必要ですが、アメリカでは②③に比べ①の発展が遅れたというのが、フクヤマ氏の見立てです。このアメリカ型政治制度が、歴史的には第7代大統領ジャクソンに始まるポ

ピュリズムの背景をなし、トランプ現象はそのポピュリズムの伝統に連なると話されました。

そうした制度的・歴史的背景の中で、近年アメリカでは政治的分極化、格差拡大、利権政治など「制度の劣化」が目立ちます。その中で没落を感じ、被害者意識を抱く白人労働者階級がトランプ支持の中核です。万トランプ大統領が誕生すれば、アメリカ型権力分散の中で、ムソリーニ(ファシスト)にならず、ベルルスコーニのような政治家になるだろうと、フクヤマ氏は予測しています。

2016年5月14日(土) 青山キャンパス17号館 本多記念国際会議場にて (地球社会共生学部教授 会田 弘継 記)

フランシス・フクヤマ氏 1952年アメリカ・シカゴ生まれ。ハーバード大学で政治学博士号取得。アメリカ国務省政策企画局、ジョンズ・ホプキンス大学高等国際問題研究大学院(SAIS)教授を経て、現在はスタンフォード大学シニアフェロー。著書に『歴史の終わり』『「信」無くば立たず』『政治の起源』など。

総合文化政策学部の学生が字幕作成をしたノーベル賞作家の伝記映画を上映

映画『GABO〜ガルシア=マルケスの生涯〜』トーク&上映会を総合文化政策学部主催で行いました。

この作品は、GABO(ガボ)と呼ばれたノーベル賞作家ガブリエル・ガルシア=マルケス(1927-2014)の新作ドキュメンタリーです。コロンビア政府の文化プロモーションの一環として、コロンビア大使館の依頼に基づき、本学部の「映像翻訳ラボ」(宮澤淳一ラボ)の既習生有志(計7名)が字幕を作成し、今回の本邦初上映が実現しました(「映像翻訳ラボ」は本学部独自の力

リキュラム「ラボ・アトリエ実習」の一つです)。

当日は堀内正博学部長とコロンビア臨時代理大使アレハンドロ・ポサダ氏の挨拶に続き、作家と交流のあったラテンアメリカ文学者の田村さと子先生(帝京大学教授)が、約90分の映画の内容を上映前に分かりやすく紹介してくださいました。

今回は開演の1時間前から行列ができるほどの盛況ぶり、学内外より150名以上の方々にご覧いただきました。学生たちは上映会自体の運営にも携わり、プロジェクト遂行の良い実践の機会となりました。

2016年5月19日(木) 青山学院アスタジオ 地下ホールにて (総合文化政策学部教授 宮澤 淳一 記)



青山学院記念館が、プロバスケットボールチーム「日立サンロッカーズ東京・渋谷」のホームアリーナに

青山学院記念館が、B.LEAGUE(ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ、Bリーグ)に参加する「日立サンロッカーズ東京・渋谷(サンロッカーズ渋谷)」のホームアリーナとして使用されることになりました。プロスポーツのトップリーグの本拠地として大学の体育館が使用されるのは初めての事です。

サンロッカーズ渋谷は、株式会社日立製作所(日立)が運営するバスケットボールチームで、BリーグのトップカテゴリーB1に所属しています。2015年には、全日本総合バスケットボール選手権大会で優勝した強豪チーム。本学バスケットボール部で活躍した広瀬健太選手、伊藤駿選手も所属しています。

青山学院記念館がサンロッカーズ渋谷の本拠地となった背景には、運営母体である日立(企業)、チームの本拠地であり青山キャンパスの所在地でもある渋谷区(行政)、本学(大



学)が連携した産官学の新たな取り組みがありました。バスケットボールを通じた社会貢献、地域振興を目指す日立と、渋谷地区にスポーツエンターテインメントを普及させ、新たな文化

左から、(株)日立サンロッカーズ・岡博章取締役社長、三木義一学長、渋谷区・長谷部健区長、広瀬健太選手

として定着させたい渋谷区が、渋谷を活動拠点とすることで合意。そして、青山学院記念館がホームアリーナとして使用されることになったのです。この取り組みを通じて、青山学院記念館が地域連携やバスケットボール文化の振興のシンボルとなり、大学の枠を超えたコミュニティとなることを目指しています。

2016年9月に開幕するBリーグ2016-2017シーズンでは、ホームゲーム30試合のうち、24試合が青山学院記念館で開催される予定で、産官学の連携による地域振興・スポーツ振興に期待が寄せられています。

2016年度青山学院市区長会総会開催

2016年6月7日(火)、本学出身の市区長会の総会が開催されました。今年は新たに、山口県下松市の国井益雄市長、徳島県徳島市の遠藤彰良市長が加わり13名になりました。

総会は、栃木県日光市の斎藤文夫市長の挨拶から始まり、岡山県総社市の片岡聡一市長の軽妙な司会で和やかに進行し、学生時代の楽しい思い出を語り合いました。



市区長会 メンバー (五十名)

北海道釧路市 蝦名 大也市長
徳島県徳島市 遠藤 彰良市長
神奈川県大和市 大木 哲市長

高知県高知市 岡崎 誠也市長
岡山県総社市 片岡 聡一市長
新潟県見附市 久住 時男市長
山口県下松市 国井 益雄市長
東京都足立区 近藤 弥生区長

栃木県日光市 斎藤 文夫市長
長崎県佐世保市 朝長 則男市長
広島県福山市 羽田 皓市長
福岡県田川市 二場 公人市長
東京都墨田区 山本 亨区長

応援団 献血運動推進全国大会で、東京都知事より感謝状授与

2016年7月7日(木)、第52回献血運動推進全国大会にて東京都知事より感謝状をいただきました。この大会は、1965年の第1回より



毎年各都道府県で順次開催されている大会で、東京都での開催は32年ぶり3回目となるそうです。本学応援団は1962年からキャンパス内で献血活動が行われる際、学生に対して献血への協力の

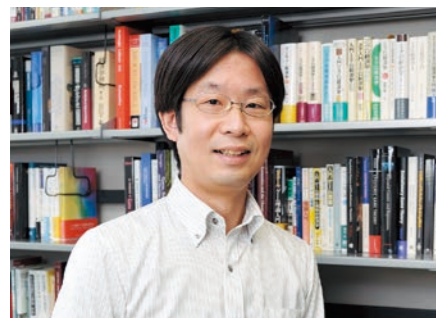
お願いを、応援で鍛えた大声で呼びかけるという形で活動に参加しております。青山キャンパスでの献血協力者は他の大学と比べても多いそうで、日本赤十字社の方からは「近年、若い方の協力者が減っている中で本当に素晴らしい、有難い」というお言葉をいただいております。

メインの活動である、体育会の試合応援や、学内行事でのエールの他に、このような形で応援団を必要といただいていることを大変光栄に感じるとともに、今後何十年先も継続して協力していけるよう、努力していきます。

(第64代団長：教育人間科学部 心理学科4年 大橋 義史 記)



AGU Lecture 081



ゲーム理論

水上 英貴

経済学部 経済学科准教授

ゲーム理論とは、値下げ競争やオークションといった駆け引きのある状況における、意思決定の方法を考える手段です。より端的に言うと、「駆け引きを分析する道具」です。経済学へのゲーム理論の本格的な応用は1940年代に始まり、専門に研究する経済学者がノーベル経済学賞を受賞するようになった90年代から、専門家以外にもぐっと脚光を浴びるようになりました。私が学部生の頃には、まだゲーム理論という独立した授業は開講されていなかったのですが、今では多くの大学でゲーム理論の授業が開講され、学部生でも授業を受けることができるようになってきました。また、以前は企業や人間の意思決定の駆け引きの分析に限られていましたが、近年はスポーツの分析にも使われるようになりました。テニスのサーブがフォアとバックのどちらに打たれるかは、まさに駆け引きです。分析の結果、世界トップクラスのプロ選手の実際のサーブの打ち分け比率は、ゲーム理論の予測する比率と違いはなかったという論文も発表されています。

ゲーム理論を学ぶ醍醐味や面白さは、二つあると思います。一つは駆け引きの合理的な結果を予測できること。もう一つは、人間がどのように考えて駆け引き

の場で意思決定するのかという、理論が分かることです。

世の中にはさまざまな現象がありますが、その多くはゲーム理論における概念である「囚人のジレンマ」(別注参照)という共通のキーワードで分析できます。例えば企業の値下げ競争や農林水産資源の乱獲、ふるさと納税の返礼品の過剰化などは、表面こそ違った現象ですが、その背後にある仕組みは同じです。目に見える現象の背後にある仕組みを読み解く目線を身に付けることは、経済学を学ぶ上でも大切なことだといえるでしょう。

本学の学生は真面目な一方、元気で活発な面も目立ちますね。本ゼミナール(ゼミ)で頑張っている学生は成長も著しく、ゼミに入ったばかりの3年生の頃と4年生の卒業時では、格段の差があります。ゼミでは、学生が自ら実際に意思決定を行う経済実験(ゲーム)を行いながらゲーム理論を学んでいきます。また、自身のプレゼンテーション力と、他の人のプレゼンテーションに対してコメント、議論できる力を身に付けることも目指しています。ただし、それらの方法を画一的に学生に教えるのではなく、学生の自主性を重んじ、自ら各自のスタイルを身に付けられるように心掛けています。



水上ゼミ学生
舟田 彩華さん
経済学部 経済学科4年
東京都立日野台高等学校出身

自分の身の回りで起きている、現実的な出来事を分析できるゲーム理論に興味を持ち、そして水上先生の授業を受けて、もっと学びたいと思い、このゼミを選びました。ゲーム理論を学んでいると、主観と論理的・合理的な部分のすり合わせを難しく思う一方、恋愛の駆け引きから核問題まで幅広く分析できる点に面白さを感じます。

ゼミでは学生同士の議論が盛んに行われます。とはいえ堅苦しい雰囲気はなく、学年を超えて仲の良いことが魅力です。水上先生には、論理的かつ奥深く考えることや、相手が考えそうなことを推察した上で考察するという、ゲーム理論ならではの考え方を教えていただいています。卒業後はこのゼミで培った「相手の立場に立って考え、相手に分かりやすく伝える」というスキルや、人間力を生かしていきたいと思っています。

囚人のジレンマ
ゲーム理論における重要な概念の一つ。犯罪を犯した2人の容疑者が別室で尋問され、①2人とも黙秘=いずれも懲役2年、②2人とも自白=いずれも懲役5年、③一方が自白、もう一方が黙秘=前者は釈放、後者は懲役10年、となる。2人にとって最適な結果は①であるにもかかわらず、各自が合理的に自らの利益のみを追求する結果②が起これば、各自の合理的な行動が2人にとっての最適な結果に結び付くとは限らない現象のこと。

Information

対東北学院大学総合定期戦報告

2016年6月4日(土)~6日(月)までの3日間にわたり、第67回対東北学院大学総合定期戦を本学にて開催しました。

初日は緑が丘グラウンドでラグロス(女子)、町田グラウンドでは軟式野球、青山学院記念館ではフェンシングの試合が行われ、攻防の移り変わりの早さなど、緊張感あふれる展開が続きました。

ガウチャー記念礼拝堂での開会式の後は、両大学学長が見守る中、記念館でレスリングの試合が行われ、力のこもった白熱した内容となりました。また、ハンドボールは、スピード感あふれる試合となり、一進一退の攻防が展開されました。

2日目はラグロス(男子)が雨天中止になったものの、バレーボール(男子・女子)は気迫のこもった試合となり、横浜市・八景島

ではヨット、相模原キャンパスでは洋弓が行われました。青学講堂では、吹奏楽パトントワリング部の交歓演奏会も実施されました。

最終日にはアイスホッケー、射撃、ソフトテニス(男子)、応援団によるリーダー公開が行われ、定期戦を華やかに盛り上げました。

総合成績は本学、東北学院大学ともに22点で同点となり、「引き分けの場合、総合優勝は遠征校のものとする」との規定により、東北学院大学が総合優勝となりました。全競技を通じて非常に接戦であった今回の定期戦ですが、来年度は東北の地に赴き、優勝盃を持ち帰るとともに、両校の友情がより一層深まることを願っています。



硬式野球部 春季リーグ戦2部リーグ優勝!

2016年4~5月に行われた東都大学野球春季リーグ戦において、2部リーグ優勝を果たしました。

2014年の2部リーグ降格から3季目の今季は、主将や学生コーチなど4年生を中心に、選手主体で練習に取り組んできました。チームワークの良さを強みに優勝を勝ち取りました。

中でも投手の近藤卓也選手(文学部 史学科4年)はリーグトップの4勝をマークし、最優秀投手を受賞。主将の佐藤将選手(経営学部 経営学科4年)はリーグ5位の打率を残し、最高殊勲選手を受賞するなど、上級生がプレーでもチームを引っ張りました。

入替戦に敗れ、1部リーグ昇格を果たすことはできませんでしたが、今季の優勝を自信とし、来季も2部リーグ優勝を目標に、

チーム一丸となって戦っていきます。そして来季こそ1部リーグ昇格を勝ち取りたいと思います。

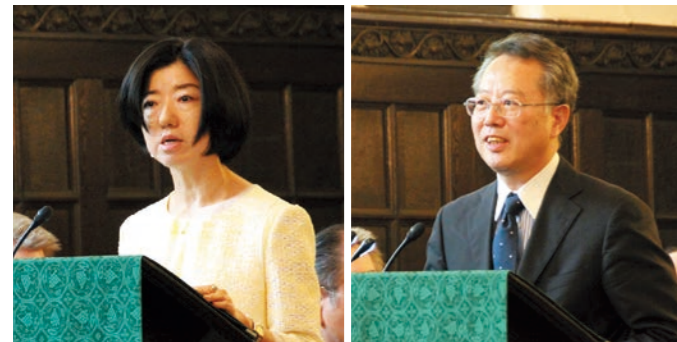
(主務：法学部 法学科4年 北沢 巧 記)



青山学院大学副学長就任式を挙行

2016年6月1日(水)、本部礼拝堂において外岡尚美副学長と橋本修副学長の副学長就任式が執り行われました。

式辞の中で梅津順一院長は「この半年間、精力的に進めてきた三木学長をはじめとした大学執行部に敬意を表するとともに、新たに副学長2名を迎えた今、神の祝福と導きを得て、益々良い仕事をなさることをお祈りいたします」と述べました。三木義一学長は新副学長の紹介の後、「2名の副学長を加え、大学そして学院をさらにより良くしていくよう努力をしております」



外岡新副学長

橋本新副学長

と抱負を語りました。

本学初となる女性副学長で、学生担当となる外岡副学長は「大学全体を捉え、学長を支え、教育内容の充実を図り、社会との連携を推進し、サーバント・リーダーの育成に努めてまいります。在校生・卒業生が誇りに思えるよう、そして教職員がこの大学で働くことを喜びに思えるよう、与えられた責務を全うしてまいります」と抱負を述べました。

2014年より理工学部長を務め、相模原キャンパス総務・財務担当となる橋本副学長は、「かつて定年で辞められた先生から伺った言葉が忘れられません。それは、『恵まれた環境で研究し十分な成果を出したのなら、その後は若手の育成と教育環境を整えることに尽力し大学や学院に恩返しすることを考えてみてください』という言葉です。『恩返し』という言葉に背中を押され、大学執行部の一員として、さらなる若手の育成、教育環境の充実、改善のお役に立てればと思います」と抱負を述べました。

堀田宜彌理事長による祝辞の後、祝祷をもって就任式は終了しました。



誓約

夏期休業期間中の窓口案内 対象期間 8/3(水)～9/15(木)

原則以下の通り窓口を閉室します。

- 8月6日(土)～8月12日(金)←一斉休業期間→
- 8月17日(水)、8月24日(水)、8月31日(水)
- 土曜日・日曜日・祝日

*以上の日程以外にも、部署により閉室する場合がありますので、本学ウェブサイトでご確認ください。9月16日(金)より平常通り開室します。

夏期休業期間中の
窓口案内の詳細は

本学
ウェブサイト
をご覧ください。

2016年度 保証人の方対象説明会

本学では、大学後援会事業の一環として、在学生の保証人の皆さまに大学の近況や学生の皆さんの成績・進路・就職などのご相談やご意見をお伺いするために、経験豊かな大学教職員が協力して説明会や個別面談を通して、保証人の皆さまにより一層大学のことを知っていただくイベントを開催しています。

キャンパス開催実施状況報告

1～3年生の保護者の皆さまを対象としたペアレンツウィークエンドは、5月21日～6月25日の土曜日に各キャンパスで開催しました。多くの方々にご参加いただき、ありがとうございました。学業・就職説明会では、各担当職員が詳細に説明し、さらに質問がある方は個別相談にご参加いただきました。1年生対象のキャンパス見学会では、パイプオルガンコンサート、ボランティア

学生によるキャンパスツアーも盛況で、保証人の皆さまにもご満足いただけたようです。

ペアレンツウィークエンド(地区父母懇談会)

6～7月に開催しました。ご来場いただきありがとうございました。全体説明会・懇談会・個別面談を通して、保証人の皆さまと意見交換ができ、有意義な内容となりました。

問い合わせ先

庶務部庶務課 TEL:03-3409-8568
http://www.aoyama.ac.jp/life/parents/parentsweekend/
*夏期休業期間中の事務取り扱いには本学ウェブサイトでご確認ください。



吹奏楽バトントワリング部によるパレード



学業説明会



就職個別面談

大学学費 後期納付のご案内(学部) ※大学院の学費納付については、大学院要覧を参照してください。

【納付期限】 9月30日(金)

1) 振込依頼書について

a. 2015年度以前入学者

4月中旬にお送りした学費振込依頼書の「B後期分」をご利用ください。なお、教職・各種資格課程を申請した方は納入金額に変更が生じています。該当者には7月5日(火)に金額変更済みの振込依頼書を送付しました。

b. 2016年度入学者

① 入学手続時に前期分の学費を納入された方

7月5日(火)に後期分の学費振込依頼書を送付しました。教職・各種資格課程を申請した方には、後期学費に課程料を加算しています。

② 入学手続時に前後期分の学費を一括納入された方

教職・各種資格課程を申請した場合、課程料の振込依頼書を7月5日(火)に送付しました。記載金額をお振り込みください。

2) 納付にあたって

入金確認のため、送付された学費振込依頼書を用いて、金融機関の窓口で納付してください。ただし、ATM・インターネットバンキングの利用を希望される場

合は、学費振込依頼書と同封の案内文に記載されている注意書きに従って手続きしてください。

3) 延納について

学生ポータルに掲載しています。

4) 学費に関するご相談・お問い合わせ

振込依頼書裏面記載の《ご相談・お問い合わせ先》にご連絡ください。

2016年度後期学費一覧表(2013～2016年度入学者)

単位:円

学部	金額		学部	金額	
	2013～2015年度入学者	2016年度入学者		2013～2015年度入学者	2016年度入学者
文学部	391,500	406,500	国際政治経済学部	391,500	411,500
教育人間科学部			総合文化政策学部	406,500	
経済学部	478,500	493,500	理工学部	565,500	580,500
法学部			社会情報学部	478,500	493,500
経営学部			地球社会共生学部	478,500	493,500

○教職・各種資格課程を申請した方は別途課程料が加算されます。

○休学、留年、卒業延期、転部、転学部・学科、編入学、再入学をした方は、上記学費一覧表と異なる金額が適用される場合があります。

そのため、後期科目申請単位数に関係なく、前期分・後期分とも所定の学費を適用します。

2) 前期に申請単位計算学費で納入した方

→後期学費は、下記の計算式で算出した、単位計算学費となります。

単位計算学費＝後期科目申請単位数×単位料

ただし、上記で算出した後期分の単位計算学費と前期納入済金額の合計が「年間所定の学費上限金額」に達した場合は、下記の計算式で算出した金額を適用します。

後期納入必要額＝年間所定の学費上限金額－前期納入済額

【納付期限】 11月11日(金)

1) 前期分学費を所定の学費で納入した方

→後期の学費は、4年次所定の後期学費(後期授業料)となります。

前期・通年科目申請単位数で、既に「年間所定の学費上限金額」に達しています。

問い合わせ先

振込依頼書再発行 青山キャンパス学費・奨学金課 TEL:03-3409-7945 相模原キャンパス学生生活課 TEL:042-759-6004
納入必要予定額の確認 庶務部経理課 TEL:03-3409-6479

2016年度 公開講座

本学では、地域社会への貢献という使命から、大学における教育および研究の成果を広く社会に開放する公開講座を開催しています。各キャンパスでさまざまなテーマの講座を用意して皆さまのご参加をお待ちしております。

青山キャンパス(渋谷区教育委員会後援)

9/17～10/22	毎週土曜日	全5回	アジアを見直す
11/12～12/10	毎週土曜日	全5回	熟年社会に向き合う

受講料 無料

詳細につきましては、本学ウェブサイト
(http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/extension/)をご覧ください。

問い合わせ先 庶務部庶務課 公開講座担当 TEL:03-3409-7955

相模原キャンパス(市民大学青山学院大学コース)

10/15～11/12	毎週土曜日	全5回	もう一度、基礎から学問を
-------------	-------	-----	--------------

対象 原則として相模原市・座間市に在住か在勤または在学の15歳以上の方(該当者を優先します)

申込期間 9月1日(木)～9月14日(水)必着

受講料 1,300円

問い合わせ先 さがまちコンソーシアム事務局 TEL:042-703-8550



第5回「情報の探索と表現」コンテスト 作品募集!

青山学院大学図書館・青山学院女子短期大学図書館では、第5回「情報の探索と表現」コンテストを実施します。本学図書館で利用可能なオンラインデータベース「AFP World Academic Archive(AFP WAA)」、「朝日新聞記事データベース「聞蔵Ⅱビジュアル」」、「ジャパンレゾナンス」、「日経BP記事検索サービス」を活用して、あなたの「オリジナルの雑誌記事」を作成してコンテストに応募してください。雑誌や新聞の仕事、あるいは文章作成、英語などに関心のある方はぜひご参加ください。

応募テーマ

- 個人部門(日本語区分/英語区分/フランス語区分)
- グループ部門(日本語区分/英語区分/フランス語区分)
- 「オリジナルの雑誌記事をつくらう!」
- ～日本の知らない世界、世界の知らない日本～
- 英語見出し部門
- 「ニュースにオリジナルの英語見出しをつけよう!」
- 賞品
- iPad mini(AFP WAA提供) ●Apple Watch

Sport(日経BP社提供) ●ロボット掃除機ルンバ(朝日新聞社提供) ●オリジナル作品集(富士ゼロックス提供) ●図書カード など多数

応募方法(作品提出方法)

大学図書館カウンターまたはメールで提出してください。応募の際は必ず「募集要項」をご確認ください。図書館各館で配布中です。図書館ウェブサイトからダウンロードできます。

https://www.agulin.aoyama.ac.jp/

応募期間

2016年10月1日(土)～10月25日(火)閉館10分前(メール最終受付21:30)まで

問い合わせ先

青山学院大学図書館本館(青山キャンパス)
TEL:03-3409-7833
青山学院大学万代記念図書館(相模原キャンパス)
TEL:042-759-6027



昨年のグランプリ受賞作品

第23回 青山学院大学同窓祭 AOYAMA GREEN FESTIVAL 2016



2016年 9月22日(木・祝) 9:00~17:30 @青山キャンパス

どなたでも無料でご入場いただけます! 会場内での買い物やイベントに参加される際は、「イーゴ券」が必要となります。



前売 2,000円
(1イーゴ20枚綴り・ハッピー・チャンス!!くじ抽選券1枚付き)

当日売 1,000円
(1イーゴ10枚綴り・ハッピー・チャンス!!くじ抽選券なし)

プログラム

- オープニングパレード ●公開講座 ●青山寄席 ●ゴールドデン&シルバー・ジュビリー記念式典・懇親会 ●出店 ●教室イベント ●陸上競技部応援ステージ ●初等部同窓会くすのき会 オール青山同窓会 お餅つき ●ふわふわイーゴ君 ●ボニー乗馬 他

「高嶋ちさ子 青山学院スペシャルコンサート」

16:00~17:30(ガウチャー記念礼拝堂)



本学院の卒業生でもあるバイオリニストの高嶋ちさ子さん(初等部、中等部卒)をお迎えます。バイオリンの優雅な音色と軽妙なトークによる、華やかで楽しいひとときをどうぞお楽しみください。入場には事前にお申し込みが必要です。申込方法などの詳細は青山学院大学同窓祭ウェブサイトをご覧ください。

青山学院大学同窓祭(AOYAMA GREEN FESTIVAL)の詳細はウェブサイトをご覧ください!
<http://aogaku-doso.jp/>



問い合わせ先▶青山学院大学同窓祭実行委員会事務局
[月・水・金 10:00~16:00] TEL:03-3409-8990
※祝日を除く

主催：青山学院校友会大学部会 協力：青山学院校友会、女子短期大学同窓会、高等部同窓会、中等部緑窓会、初等部くすのき会、幼稚園いとすぎの会

アンケートご協力をお願い

青山学院大学では、在学生の保証人の方々に本学の取り組みや在学生の活躍をお伝えるために本誌を制作しております。皆さまのご意見を今後の広報誌制作に生かすべく、アンケート調査を行うことといたしました。つきましては、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。8月31日(水)までにご回答いただいた方の中から抽選で30名に、青学オリジナルグッズをプレゼントいたします!(当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます)



ココサス(付箋)



アンケート回答はこちら

Club & Circle 32 青山ダンシングラバーズ ジャズダンス愛好会(ADL)

全員の思いを一つにして最高のステージを届けたい。

青山ダンシングラバーズ ジャズダンス愛好会(ADL)は、1980年に創設されたダンスサークルで、2016年度は190名の部員が所属しています。夏には、立教大学、学習院大学、埼玉大学のダンスサークルとの合同イベント「玉見山祭」、秋には相模原祭、青山祭でダンスパフォーマンスを披露し、12月には1年の集大成ともいえる「ADL公演」があります。また、ダンスサークルの大学日本一を決める大会「Japan Dancers' Championship」にも参加し、2016年2月に優勝の栄冠を手に入れました。ダンスを楽しめるだけでなく、ダンスを通じてたくさんの人と思いを分かち合えるのも嬉しいですね。

玉見山祭での合同イベントの他、43大学55サークルが加盟する関東大学学生ダンス連盟Σ(シグマ)にも所属しているため、さまざまなイベントを通して交流の輪、人とのつながりも広げることができました。このつながりを大切にして、さらに輪を広げ、さまざまな活動に関わりたいと思います。

(会長：経済学部 現代経済デザイン学科3年 尾崎 翔太 記)



AGU NEWSについて

青山学院大学では、大学広報誌「AGU NEWS」を年4回発行し、在学生の保証人の方々へ送付しています。また、在学生を対象としてキャンパス内専用スタンドにて配布しています。

- バックナンバーは、本学ウェブサイトでご覧いただけます。
- 確実に保証人の方々へお届けするため、住所が変更になった場合は、学生ポータルを利用し、**学生本人が変更手続きをしてください。**



発行元：青山学院大学 政策・企画部
TEL：03-3409-8159

本誌掲載の記事、写真、図版などの無断転載・複製を禁じます©2016青山学院大学

●2016年7月31日発行●